

## 研究内容

- RE100をテーマに「100%再生可能エネルギーで出来た商品」という新たな価値が普及しつつある。消費者の購入基準にも、エシカル消費の観点から、再生可能エネルギーが考慮される。
- 持続可能であることはひとつのキーワードとなっており、自然環境を保全することはブランド化の可能性を秘めている。
- 特に、雪、水といった「ここにしかない再生可能エネルギー」は有力なキーワードとなりうる。

## (公財)こしじ水と緑の会

- 当財団は、酒造業の経営のバックボーンを守るために、地域の自然を守り・寄り添いながら、持続可能な営みを続けてきた朝日酒造が、現在と将来の世代のために快適な自然環境を提供することを目的として2001年6月5日世界環境デーに設立した公益財団法人。
- 環境活動の持続性を担保するには、活動をグローバルマネーに変えていく必要を感じている。

## 課題

- 生産者、飲食店、加工業者、流通、小売、サービス業など、さまざまな人が共に再エネの活用、ブランド化について話し合い、発信するための組織づくり。

## 実現したい将来像

◎再エネによる新たな付加価値創出

# こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金成果報告会

